

裏表紙

06

05

03

02

01

株主優待制度のご案内

会社及び株式の状況

トピックス

事業概要・セグメント情報

業績ハイライト

ご挨拶・業績概要

目次

V O L U M E

14

DK VOICE Vol.14

第46期第2四半期 株主通信

2018年4月1日 ―――→ 2018年9月30日

DK **ダイコク電機株式会社**

証券コード 6430

経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で、人手不足の深刻化や米国の保護主義的な政策による貿易摩擦の激化が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、「ギャンブル等依存症対策基本法」（平成30年7月6日可決）や「受動喫煙対策を強化する改正健康増進法」（平成30年7月18日可決）など、これらによる事業環境の変化に柔軟に対応することが喫緊の課題となっております。

また、平成30年2月1日に施行された「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則」（以下「新規則」という。）に対応した新規則遊技機として、大当たり確率を最大6段階まで設けた「設定付きパチンコ機」

が遊技機メーカー各社から発表され、その市場評価に注目が集まっております。

このような市場環境のもと、情報システム事業におきましては、「設定付きパチンコ機」にも対応したデータ表示と多彩なコンテンツを搭載した「BIGMO PREMIUM II」をはじめとした情報公開機器の拡販に努めるとともに、ファン動向データ公開サービス「Fan-SIS」において新機能をリリースするなど、利用頻度の向上と普及に取り組みました。

制御システム事業におきましては、新規則遊技機のスペック分析と市場投入が開始された「設定付きパチンコ機」の実績調査を継続的に行い、規則改正後の市場に適した魅力的な遊技性の創出に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高142億30百万円（前年同期比20.9%減）、営業利益8億72百万円（同132.6%増）、経常利益10億5百万円（同103.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億37百万円（同115.3%増）となりました。

財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、たな卸資産の増加がありましたが、現金及び預金や売上債権が減少したこと、減価償却費計上により有形固定資産や無形固定資産が減少し、前連結会計年度末に比べ18億29百万円減少の417億35百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、研究開発費及びソフトウエアの支払いに関する営業債務が減少したこと

より、前連結会計年度末に比べ20億5百万円減少の123億6百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、配当金の支払いより親会社株主に帰属する四半期純利益の計上が上回ったことにより利益剰余金が増加し、前連結会計年度末に比べ1億76百万円増加の294億28百万円となりました。自己資本比率は70.5%（前連結会計年度末比3.4ポイント上昇）となりました。

通期の業績予想

平成31年3月期通期連結業績予想におきましては、下期にずれ込んだ研究開発費等の発生が見込まれるため、平成30年5月14日に公表しました予想値から変更はありません。

●通期予想及び第2四半期連結累計期間における業績進捗率（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益
第2四半期連結累計期間	14,230	872	1,005	637
通期予想	35,000	1,300	1,400	800
進捗率（%）	40.7	67.1	71.8	79.6



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

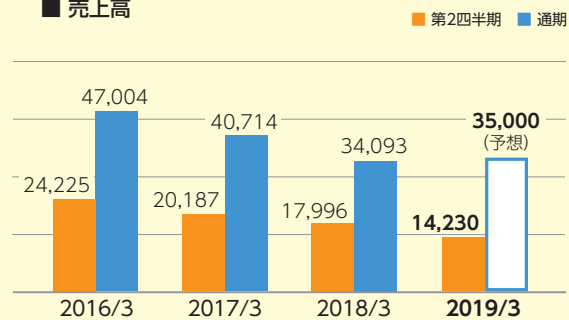
当第2四半期の業績は、前年に比べ減収ながら増益となりました。市場環境は厳しい状況が続いていますが、着実に変化しようとしています。「攻める」「挑む」を行動指針とし、株主の皆さまの期待に応えられるよう、通期連結業績予想の達成に向けて取り組んでまいります。

株主の皆さまには、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

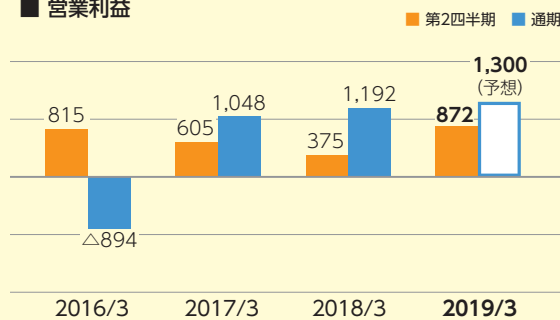
代表取締役社長 根本 弘

業績ハイライト

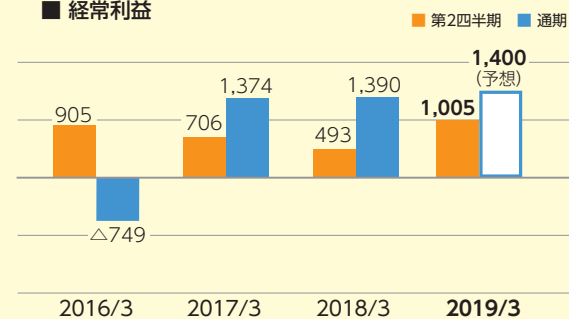
売上高



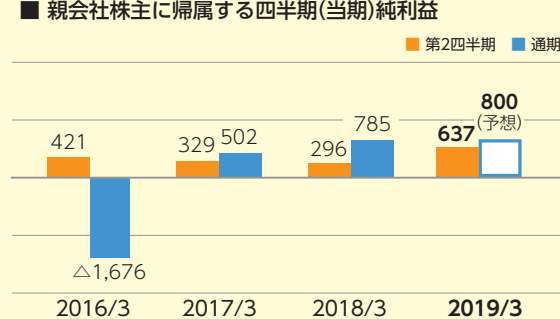
営業利益



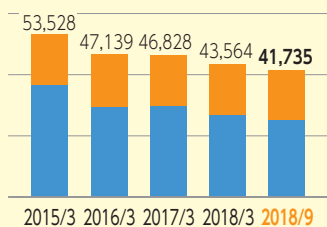
経常利益



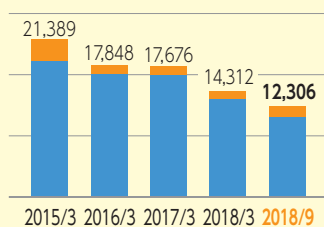
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



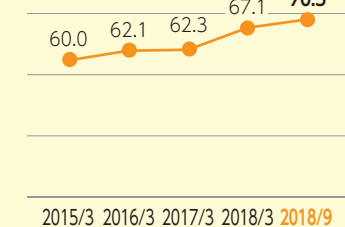
流動資産 固定資産



流動負債 固定負債



自己資本比率 (%)

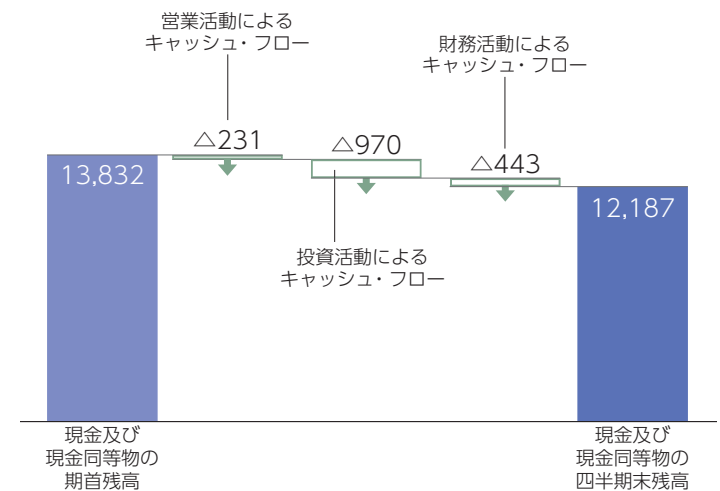


(単位：百万円、単位未満は切捨て)

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科 目	当第2四半期 2018年4月 1日から 2018年9月30日まで	前第2四半期 2017年4月 1日から 2017年9月30日まで	前期 2017年4月 1日から 2018年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	△231	△125	2,921
投資活動による キャッシュ・フロー	△970	△1,559	△2,411
財務活動による キャッシュ・フロー	△443	△591	△739
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△1,644	△2,275	△229
現金及び現金同等物の 期首残高	13,832	14,062	14,062
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	12,187	11,786	13,832

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要



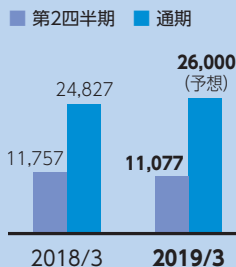
パチンコホールと遊技機メーカーの双方へ革新的な製品

情報システム事業

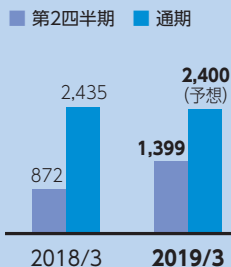
パチンコホール向けに、店舗運営に必要な管理機器「ホールコンピュータ」をはじめとする情報システム機器を提供するなど、企業経営・店舗運営を支援しています。



売上高



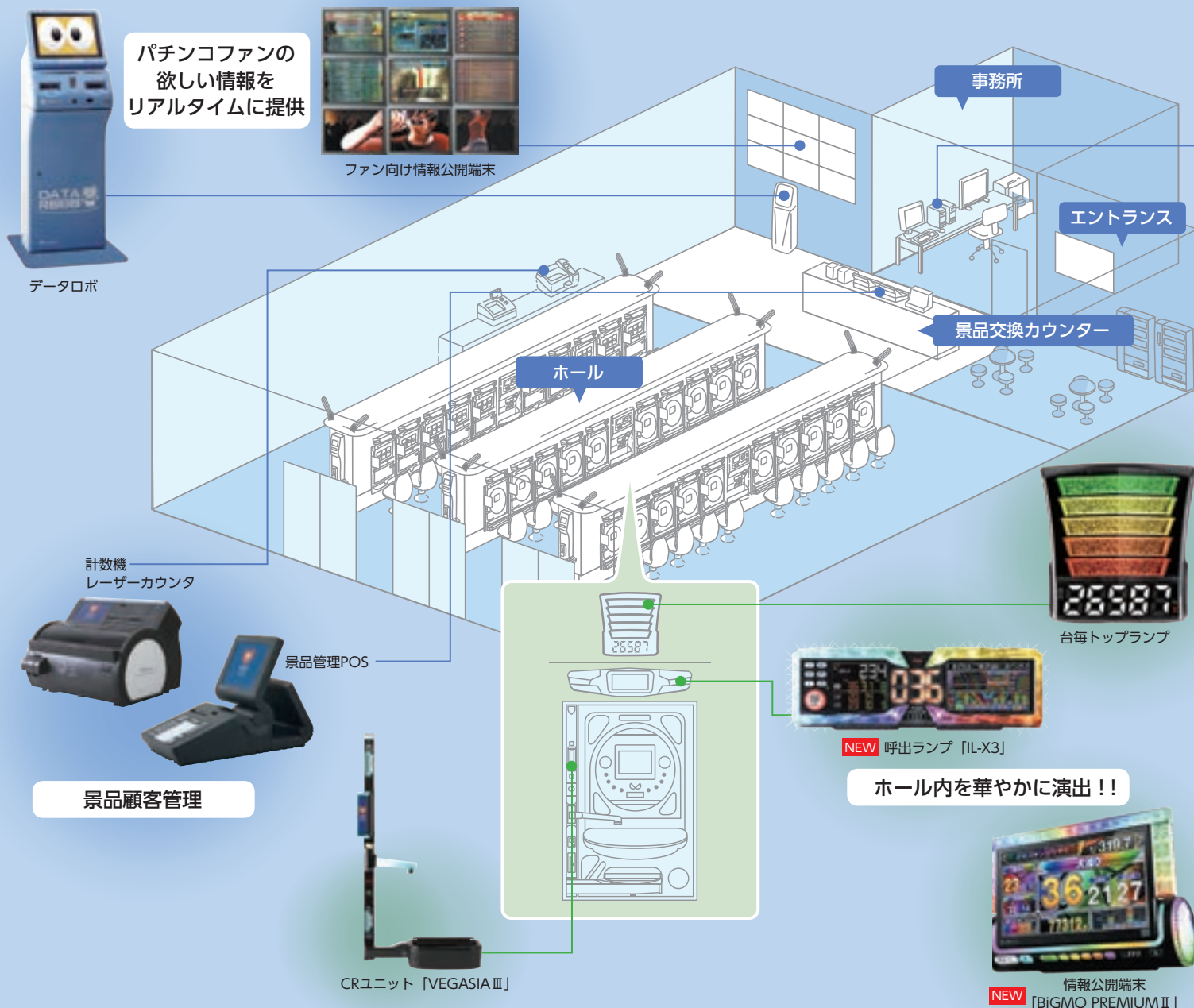
セグメント利益



当期の営業概況

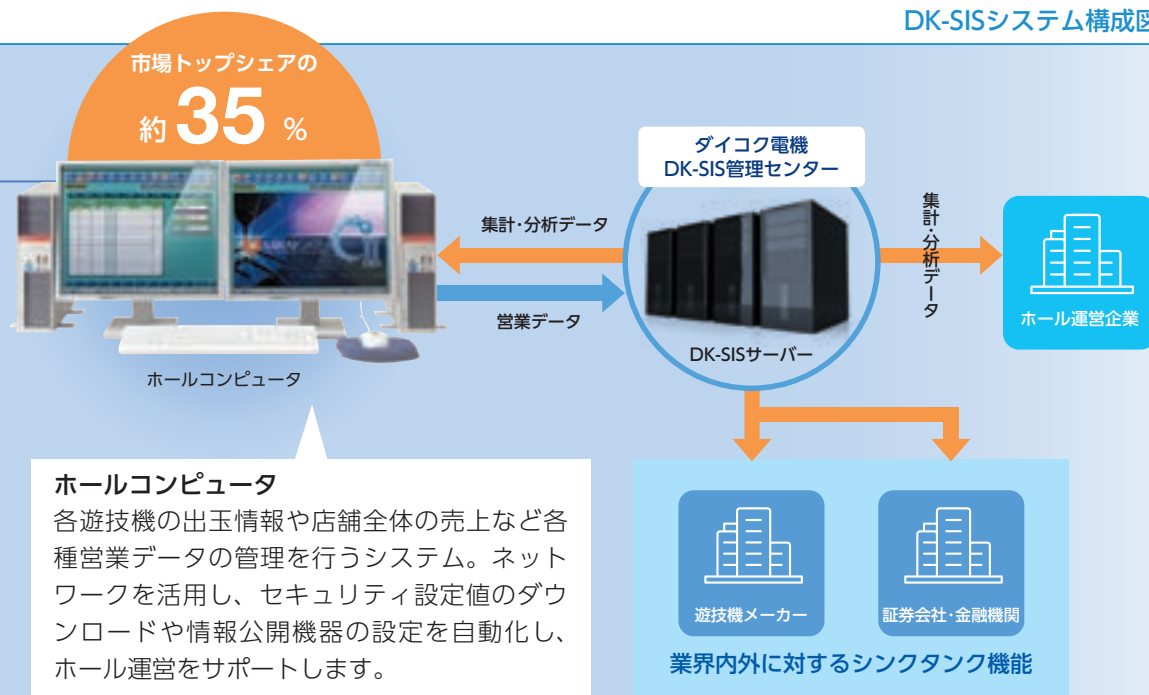
新規出店や大規模改装が大幅に減少する、厳しい市場環境が継続するなか、大手企業に導入が進んでいる情報公開端末「BIGMO PREMIUM II」及びホールコンピュータの販売は前年同期を上回りましたが、その他の主力製品は前年同期を下回る厳しい状況で推移しました。

また、パチンコホールでの人手不足が深刻化するなか、CRユニットのオプション機能である台毎計数システムの需要は増加傾向にあり、当第2四半期連結累計期間においては、特にパチスロにおいての台毎計数タイプへの切替が進みました。



を提供し続ける市場創造型の企業です。

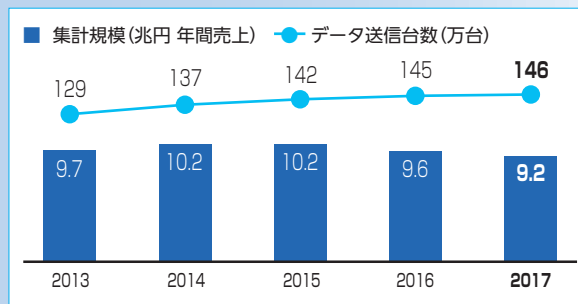
DK-SISシステム構成図



会員制情報提供サービス「DK-SIS」

「DK-SIS」は、1990年(平成2年)に店舗経営を支援する会員制システムとして誕生しました。パチンコホールの基幹システムであるホールコンピュータとダイコク電機とを専用回線で結び、日々の営業データを収集し、分析、加工後、パチンコホールに各種データを提供する顧客支援システムです。遊技機データ量は約146万台分、金額換算すると9.2兆円分のデータをベースに、遊技機動向や営業データなど付加価値の高い情報を提供。ホール経営支援から業界の発展にも貢献しています。

この大規模データを活用し、証券会社や金融機関など業界外にもパチンコ業界の指標を配信。リアルタイムで客観的な数値情報を公開することで、業界に対する信頼を構築しています。

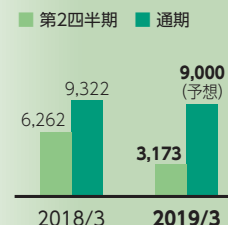


制御システム事業

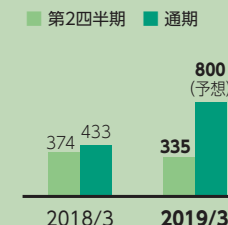
パチンコ・パチスロ遊技機メーカーに対し、遊技機の表示や制御ユニットのハードウェア及びソフトウェアの開発からセールスプロモーションまで手がけています。また、子会社のDAXELではパチスロ遊技機を製造・販売しています。



売上高



セグメント利益



当期の営業概況

パチンコ遊技機向け表示ユニット販売は好調に推移しましたが、規則改正の影響による遊技機メーカーの販売計画見直しやリユース率の上昇等もあり、制御ユニット及び部品販売は前年同期を下回りました。

また、パチスロ遊技機において前年同期は約5,500台を市場投入しましたが、当第2四半期連結累計期間での販売はありませんでした。

DK



遊技機市場の変化に対応した企画開発



映像制作・プログラミング



品質管理
(デバッグ・検査)



表示用ユニット、
制御用ユニットの提供

遊技機メーカー

NOW

Vision for the Future ～変革の時代を生き抜くために～

2018年5月18日の名古屋会場を皮切りに、福岡、大阪、東京の全国4会場、延べ5日間にわたりダイコク電機 SISセミナーを開催しました。

今回のセミナーでは、以下の4点を提案しました。

- ▶ 2019年2月から始まる高射幸性パチスロ遊技機設置比率15%以下の営業を見据えた機種選定のポイント
- ▶ 消費税増税を前に、貸し玉料金引き上げ実施店舗の実情と注意すべきこと
- ▶ 設定付きパチンコ（新規則機）の特徴と活用ポイント
- ▶ 全国のファン動向分析が可能な「Fan-SIS」や「CII-FACE」から見えてきた機種選定の方向性

2018年2月に施行された改正規則により、業界は大きく変わろうとしています。また、「のめり込み防止」や「改正健康増進法への対応」、ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックによる「新台入替の自粛」など、取り巻く環境も変化します。

激変する時代だからこそ、お客さまが求めている提案をタイムリーに提供できたと感じています。今後もお客さまからより頼られる存在になるよう様々な提案、情報発信を行ってまいります。



NOW

呼出ランプ「IL-X3」

初代リリースから約30年が経った今でも多くのファン、パチンコホールから愛されている呼出ランプの代名詞「IL」シリーズ。時代の変化と共に進化を続け、圧倒的な支持を得ている「IL-X」シリーズの正統後継機「IL-X3」をリリースしました。

CONCEPT

より大きく・よりわかりやすく・より煌びやかに

- ▶ 業界最大級ボディ 圧巻の幅473mm!
- ▶ 業界最大級 7インチワイド液晶搭載!
- ▶ 業界初 VA液晶搭載!

見やすい＆わかりやすい
センターキラセグ

押しやすい
光る呼出ボタン

彫りの深い造形で **ギラギラ**
イルミネーションを実現



NOW

「DK-SIS白書2018年版 －2017年データ－」刊行

このたび当社は創刊から数えて15冊目となる「DK-SIS白書2018年版－2017年データ－」を刊行いたしました。本書は、市場シェアのおよそ3分の1にあたる146万台もの膨大なホールの営業データを日々集計・分析し、1年分の情報を集約したものです。

本書ではパチンコ・パチスロ業界における売上規模・粗利規模等の様々な指標の推移について、また2017年に登場した遊技機のトレンド変化や業績について考察を行っております。

DK-SIS並びに本書は、常に変化する市場に対応するための情報収集ツールとして、ホール経営企業の皆さまにご活用いただいております。なお、過去のバックナンバーを弊社ホームページ(<http://www.daikoku.co.jp/>)に掲載しておりますので、是非ご覧ください。



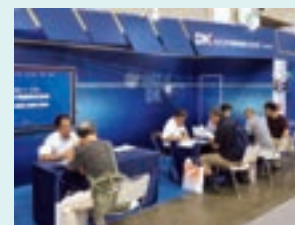
NOW

「名証IRエキスポ2018」に出展

2018年7月20日（金）・21日（土）の両日、名古屋市中企業振興会館（吹上ホール）にて行われた名古屋証券取引所主催の「名証IRエキスポ2018」にブース出展いたしました。今回で連続15回目となるこのイベントは今年も盛況で、2日間で8,300名もの来場者がありました。

当社ブースでは面談形式で、パチンコ業界の現状や会社業績、株主優待などの株主還元について説明させていただきました。多くの株主や個人投資家の皆さま一人ひとりと貴重な対話の機会を持つことができ、大変有意義な出展となりました。

今後も当社への興味を持っていただけるよう継続的なIR活動を行い、当社の知名度・認知度の向上に努力してまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。



会社概要

商 号 ダイコク電機株式会社
DAIKOKU DENKI CO., LTD.
創 業 1965年 9月
設 立 1973年 7月
資 本 金 6億7千4百万円
本 社 名古屋市中区那古野一丁目43番5号
従業員数 (単独) 434名 (連結) 638名
事業内容 パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売
パチンコ遊技機用ユニット・パチスロ遊技機の開発・製造・販売
決 算 期 3月31日
事 業 所 3事業所、4支店、13営業所
連結子会社 元気株式会社、DAXEL株式会社、
ダイコク産業株式会社、アロフト株式会社

役員

代表取締役会長	栢 森 雅 勝
代表取締役社長	根 本 弘
代表取締役専務	栢 森 健
常務取締役	丹 羽 時 重
常務取締役	大 上 誠 一 郎
取締役	栢 森 啓
取締役	藤 巻 靖 裕
取締役	松 原 真 那 武
取締役	大 成 俊 文
取締役	足 立 芳 寛
取締役	武 田 邦 彦
常勤監査役	吉 川 幸 治
監査役	村 橋 泰 志
監査役	田 島 和 憲
監査役	知 念 良 博

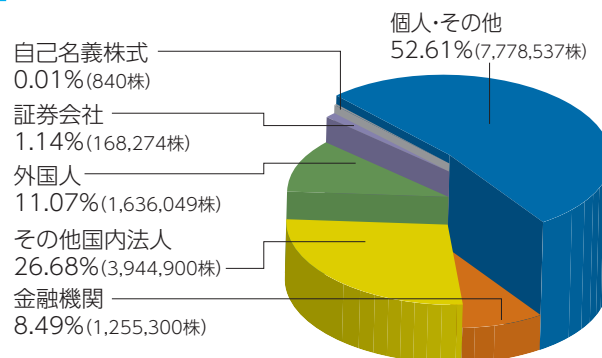
(注) 1. 取締役 足立芳寛氏、武田邦彦氏は社外取締役であります。

2. 監査役 村橋泰志氏、田島和憲氏、知念良博氏は社外監査役であります。

株式の状況

発行可能株式総数 66,747,000 株
発行済株式総数 14,783,900 株
株主数 11,678 名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
栢森 健	1,772,200	11.98
栢森 秀行	1,326,300	8.97
栢森 雅勝	1,014,650	6.86
栢森 美智子	926,000	6.26
栢森 和代	773,000	5.22
公益財団法人栢森情報科学振興財団	750,000	5.07
栢森 新治	443,450	2.99
ビーエヌワイエムエスエーエヌバイ ノン トリーティー アカウント	279,100	1.88
栢森 寿恵	221,700	1.49
ダイコク電機従業員持株会	209,953	1.42

株主メモ

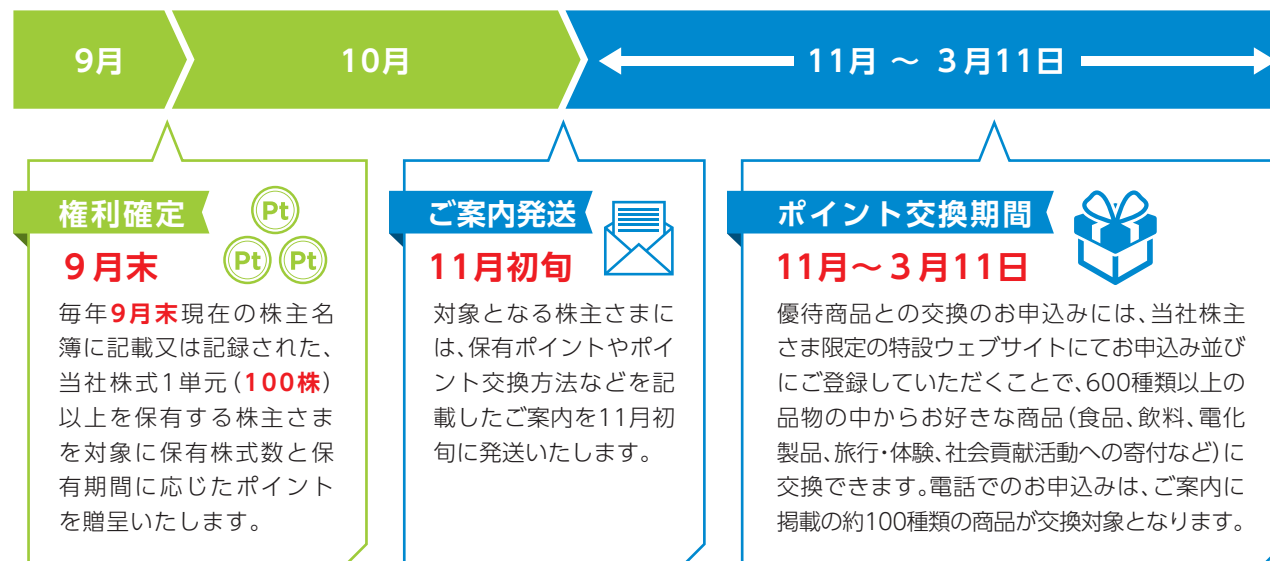
事業年度 4月1日から翌年3月31日
定時株主総会 6月下旬
基 準 日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要があるときは、
あらかじめ公告いたします。
一単元の株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 〒460-8685
名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063
電 話 照 会 先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
本店及び全国各支店でっております。
公 告 方 法 電子公告によります。ただし、やむを得ない
事由によって電子公告ができない場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。

公告のホームページアドレス
<http://www.daikoku.co.jp>

株主優待制度のご案内

ポイント交換までの流れ



ポイント繰越有効期限と注意点について

ポイントの繰越条件、繰越有効期限にご注意ください。

2016年9月末対象の贈呈ポイントは、2019年3月11日の交換期限が過ぎると失効します！



期限

**2019年
3月11日**

！ご注意ください

ポイントの繰越有効期限は3年です。2015年より毎年9月末日の権利確定日ごとに保有期間1年とみなし、カウントいたします。2016年9月末対象の贈呈ポイントは有効期限をむかえます。2019年3月11日までに交換してくださいませようお願いします。**未使用のまま交換期限を過ぎたポイントは失効します。**

贈呈ポイントと繰越条件について

Check ① 保有株式数と贈呈ポイント

保有株式数	贈呈ポイント数	
	初年度	1年以上保有*
100～299株	3,000ポイント	3,300ポイント
300～499株	6,000ポイント	6,600ポイント
500～699株	12,000ポイント	13,200ポイント
700～999株	15,000ポイント	16,500ポイント
1,000株以上	20,000ポイント	22,000ポイント

※1年以上保有 (9月末日現在の株主名簿に同一の株主番号で連続2回以上記載されること)

Check ② ポイント繰越の条件

交換されなかったポイントは同一株主番号で、100株以上継続保有の場合は、手続き無しで繰越しできます。全株式を売却(100株未満の保有も含む)、もしくは名義変更や貸株等で株主番号が変更になった場合は、翌年9月末日の権利確定日において繰越されたすべてのポイントは失効します。

お問合せ先

ダイコク電機
株主優待
ヘルプデスク

0120-907-992

受付時間：平日9:00～17:30 土・日・祝日・年末年始(12/28-1/6)除く